

夢洲における実証実験の公募 主催者コメント

●公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会 事務総長 石毛 博行

大阪・関西万博は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、「未来社会の実験場」をコンセプトに掲げています。万博会場は未来社会を「共創」する壮大な実験のまちとなり、新たな技術の実験・実証へのチャレンジを後押しすると同時に、「いのち」について考える機会を提供します。このコンセプトに基づき、万博をより実践的な「行動の場」とし、万博会場全体を未来社会のショーケースに見立て様々な分野における先端技術やシステムをふんだんに取り入れてまいります。

博覧会協会では、実験・実証へのチャレンジの後押しや万博開催の機運醸成に向け、大阪港湾局のご協力を得て、大阪商工会議所と夢洲での実証実験の公募を行いました。多くの意欲的な提案が寄せられ、選考委員による熱心なご審査により、機運醸成等に相応しい提案が採択されました。提案された全ての企業等を含め、関係者の皆様にお礼を申し上げます。

今後、夢洲は、企業等が参加した「行動の場」となり、未来社会の実験場の一部となってまいります。博覧会協会としても、イノベーション創出の流れが加速され、人々が「アッ」と驚くような成果が実証実験から生み出されるよう、実証事業推進チーム大阪による支援等と連携し取り組んでまいります。

万博の開催まで4年となりましたが、大阪・関西万博が人々の明るい「未来社会」の希望となり、「いのち輝く未来社会」の実現につながるよう、引き続き企業、団体等の皆様と共創に取り組んでまいります。

●大阪商工会議所 会頭 尾崎 裕

今回、2025年日本国際博覧会協会と大阪商工会議所が実施した実証実験の公募にあたり、国内外から39件の提案が寄せられ、その中から海外の提案を含む10件を採択いたしました。2025年大阪・関西万博へのみなさまのご関心の高さを強く感じるとともに、4年後の開催に向けた取り組みが、いよいよ加速していくことを実感しています。

夢洲は、万博の建設工事が始まるまで、新しいアイデアや先端技術を活用した大胆な実証実験が可能です。ここで、未来の製品やサービスを創出することを目指して、多様な起業家や幅広いプレイヤーが、未来社会を見据えたイノベーション創出に繋がる実証実験を行うことが、万博の掲げるコンセプト「People's Living Lab（未来社会の実験場）」を具現化する一歩だと考えています。

これまで大阪商工会議所は、大阪に根付く「やってみなはれ」の精神を実践する「実証事業都市・大阪」の実現に向けて、大阪府、大阪市とともに、公共空間や民間の施設などを、実証実験のフィールドとして提供する支援組織「実証事業推進チーム大阪」を運営してきました。今回、採択された案件についても、引き続き実証実験の円滑な実施に向け、支援を行ってまいります。今回の公募は、万博開催に向けた機運をより一層高めていくことも目的としています。そこで、採択された企業等に使用いただくための「夢洲実証実験ロゴマーク」を、博覧会協会とともに新たに作成しました。

今回の夢洲における実証実験が、社会実装へと繋がり、大阪・関西におけるイノベーション創出に向けた活発な取り組みへと波及し、万博のテーマに掲げる「いのち輝く未来社会」に繋がっていくことを期待しています。